

JA西三河、「第1回食育活動表彰 農林水産大臣賞受賞記念 食農教育活動報告会」を2月6日に開催 参加小学校校長に感謝状・全校児童にクリアファイル贈呈

JA西三河は2月6日、農林水産省による「第1回食育活動表彰」の教育関係者・事業者部門での農林水産大臣賞受賞を記念し、「第1回食育活動表彰 農林水産大臣賞受賞記念 食農教育活動報告会」を開きます。またこの席上で、『米づくり体験授業』に参加した各校の校長へ感謝状、児童約8,065名に向けてクリアファイルを贈呈します。

この報告会には『米づくり体験授業』に参加する市内19小学校（※）の校長と担当教員、各校で米づくりを指導する農家、県・市・JAの担当者など合計約150人が参加します。

この活動報告会は、次年度に向けた意識の統一を図ることを目的にJAが指導農家・担当教員等の関係者とともに毎年開催しています。今回は農林水産大臣賞の受賞を受けて、報告会に続けて懇談会を開き、日頃の食育活動へのご協力に対する感謝を伝えます。

※平成29年度に活動を行っていない1校含む、同年度は18校で開催

■開催日程■

【日時】2月6日（火） 午後5時30分～

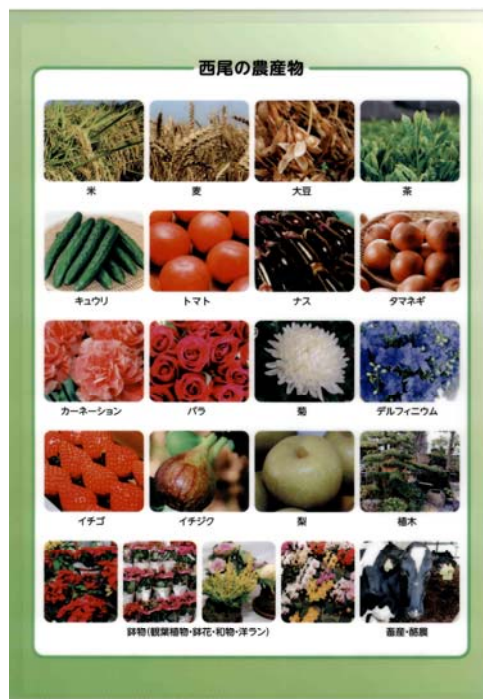
【場所】Aコープ桜町店3階 アルファステージ

【来賓・参加者】

西尾市 中村 健 市長
東海農政局経営・事業支援部 地域食品課 相撲 一郎 課長
愛知県農林水産部 食育消費流通課 齋藤 弥生子 課長
愛知県西三河農林水産事務所 森本 真治 所長
西尾市内各小学校での稲作り指導者の皆さん 20名
JA西三河 代表理事組合長 名倉正裕
以下、県・市・JAの関係部署役職員 合計 約150名

【会次第】

- ・JA組合長あいさつ
- ・食農教育発表 JA西三河食育担当より
- ・感謝状・記念品の贈呈
米作り指導農家20名（代表1名）
きゅうり部会1名・女性部1名・小学校19校（代表1名）
- ・祝辞
西尾市長・愛知県・東海農政局
- ・懇談会



クリアファイルの図柄
西尾市で作られている多様な農作物を
紹介している



この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

JA西三河 企画課 担当：岡田

電話：0563-56-5214

メール：kikaku@ja-nishimikawa.com

携帯：070-1414-4251

JA西三河 営農企画課 担当：大島

電話：0563-56-5274

JA西三河の食農教育活動

■ JA西三河の食農教育活動 概要

JA西三河では、「食」と「農」に対する理解促進のため、子ども達や親子を対象にした地域ぐるみでの食農教育活動を展開しています。

主活動である「米づくり体験授業」のほか、公募で実施する野菜作り体験「家族食・農体験農場 親子で学ぶ日曜学校」、県域団体のJAあいち経済連等と協力して実施する農業体験「親子で学ぶあいち米 おコメ実らせ隊」などを開催。また、農協内各部会（稲作青年部、きゅうり部会、女性部）も食農体験行事を開催し、地域一体となって「食」と「農」の大切さを伝えています。



■ 米づくり体験授業

「米づくり体験授業」は、JA主体では平成21年度（個別の活動としては昭和58年度）から継続して行っています。開始から9年目を迎え、こどもだけではなく、小中学校の教育関係者・地域の農家・地域住民・PTAや保護者の参加・協力の輪も広がり、広く市民になじみのある親しみある行事として定着しています。

平成29年度は市内18の小学校（5年生、特別支援学級を含む）で、①田植え、②かかしづくり、③稲刈り、④収穫祭を主に行うほか、各小学校では、田んぼアートづくり・泥リンピック・観察記録づくり・バケツ稲との比較等、工夫をこらし独自の取組を展開しています。

毎年度末には食農教育活動に関する意見交換会を開催しており、学校、農業指導者、JA支店の全関係者、東海農政局、愛知県、西尾市の行政機関が一堂に集まり、感想を共有し、次年度への改善、継続に向けて意識の共有を図っています。



「米づくり体験授業」の様子
田植え（5月・上）・稲刈り（10月・下）

■ 食育活動表彰とは

農林水産省が、優れた取り組みを行う食育関係者を称え、先進事例として全国に紹介・展開して行くことを目的に開始したもの。第1回食育活動表彰の募集は平成28年11月から翌29年2月にかけて行われ、ボランティア部門3部門、教育関係者・事業者部門4部門の計7部門に、全国から合計261団体の応募がありました。



JA西三河きゅうり部会による
「良いきゅうりの日（4/19）」の
キュウリ出前授業・ふれあい給食（左）
JA西三河女性部による親子農園では、一年を通して
女性部員や営農職員が参加者に野菜作りを指導する（上）



農林水産省「第1回 食育活動表彰 事例集」 JA西三河 活動紹介ページの抜粋



教育関係者・事業者部門
《農林漁業者等》

農林水産大臣賞

西三河農業協同組合 (愛知県推薦) 活動期間 11年

「食」と「農」に対する理解促進のため、地域ぐるみで
豊かな心を育む食育活動

工夫をこらした米作り体験学習

西尾市内小学校全18校を対象に、教諭、地域農業協力者、地域住民、PTAの協力を得て米づくり体験学習を実施し、田植え、かかしづくり、稲刈り、収穫祭を行っています。田んぼアートや泥リンピック、観察記録、バケツ稲との比較等、工夫をこらし独自の取組を展開しています。収穫祭では、もちつきを主に、箱寿司、押し寿司等、郷土料理、食文化についても学ぶことができます。



かかしづくり体験

地域で支える体験活動

主活動の米作り体験学習は、毎年3月に、全小学校教諭、地域農業協力者、行政関係機関（東海農政局、愛知県、西尾市）が集まり、意見交換会を実施し、感想や改善点を共有し、次年度の取組に反映するなど、地域ぐるみで継続できる体制が確立されています。体験活動を支える地域の協力者にとっても、子供たちとの交流は大きな励みとなっています。



田植え体験

市民への農業体験学習の場の提供

小中学校での野菜作り体験学習、西尾市民親子を対象とした日曜学校、県域団体と連携した米作り、JA各部会の行事（よいきゅうりの日、愛知県産小麦うどん作り等）を開催し、市民に農業体験学習の場を広く提供し、農業に対する理解促進に努めています。



よいきゅうりの日

地域農業発展のために
尽力すること、地域に
安全・安心な食料を提
供することとあわせ、
『食の大切さ』を地域
に伝えることはJAに
とって重要な使命です。



我々JAは今後とも、食の安全・安心に留意し、高品質の米や麦・大豆、野菜等の食料を地域に届けていきます。地域の皆様にはぜひ地元の農作物をご利用いただき、豊かな食生活に役立てていただきたいと思います。

西三河農業協同組合 代表理事組合長
名倉 正裕